

## ほっぺとびるみんなの居場所

ほっぺ

館林邑楽相談支援センター  
ほっぺとは、館林市と邑楽町、  
板倉町、千代田町、明和町の  
一市四町の方を対象に相談支  
援を行っています。主任相談  
支援専門員1名、相談支援専  
門員10名、相談員4名、事務  
1名の計16名で支援をさせ  
て頂いています。ご本人やご  
家族の日常生活や社会生活を  
営む上での悩み等の相談を  
受けています。ご本人が望む  
生活を送れるように、各関係  
機関と共にチームとなり協力  
しています。初めて関わる人  
に自分の困っていることを伝  
えるという事は少し身構えて  
しまうことがあると思います。  
どんな所だろう、どんな人が  
話を聞いてくれるのだろうか  
ど考え何度も電話番号を押す

かどうか悩み決めてくれたの  
かもしれません。相談者がど  
んな想いを持っているのか常  
に想像しながら日々業務にあ  
たっています。実際に想いを  
言葉にできる人、ジェスチャ  
ーで伝える人など様々な表現  
方法があると思います。でき  
る限り想いを汲み取れるよう  
にしています。相談者がほっ  
ぺと安心できる相談員であれる  
ように関係機関と連携を図り  
ながら全力を尽くしていきたく  
と思います。

相談支援員

勤続4年 星野 絵梨花



## 居住環境の整備

第二陽光園

昨年度、共同生活援助「が  
じゅまる」が開所し、第二陽  
光園から14名の方が環境を  
変えて新しい生活をスタート  
させました。利用者さんの移  
動に伴い昨年度から進めてい  
た「男性棟の個室化」も完了  
し、第二陽光園の男性利用者  
さん全員が個室となりました。  
男性棟では空いたスペースを  
綺麗に整備し、新たな治具の  
提供場所を準備しました。落  
ち着いて活動に取り組めるよ  
うに簡単な仕切りを使ってど  
なたでも使える自由なスペー  
スとして活用いただいています。  
す。デイルームの整備をして  
から、ソファで本を読む、テ  
レビを観るなど、余暇をゆつ  
たり過ごされる利用者さんが  
増えていきます。

女性棟は高齢化や重度化に  
着目し、環境整備や「個」を  
重視した支援をしております。  
余暇支援としては、外食の際、  
本人に好きなものを選択して  
いただいたり、お弁当会やお  
誕生日会を定期的に行い、利  
用者さんが「嬉しい」と感じ  
られる機会を増やせるように  
配慮しています。

これからも職員間での情報  
共有を密に行い、男女職員共  
にできうる限り「利用者さん  
の思い」を実現していきたい  
と考えています。利用者さん  
の生活の基盤となる環境を整  
え、彩りある生活を送ってい  
ただけるよう心掛けていきたく  
と思います。

生活支援員

勤続2年 木村 良